

I 結果の概要

1 本年度の調査概要 及び 本県の課題

平成30年度全国学力・学習状況調査

- (1) 調査実施日 平成30年4月17日(火)
- (2) 本県の実施状況 公立小学校796校(第6学年 51, 353人)
公立中学校386校(第3学年 47, 569人)
合計1,182校(義務教育学校・特別支援学校を含む)
- (3) 調査内容 ア教科 国語A、算数・数学A：主として「知識」に関する問題
国語B、算数・数学B：主として「活用」に関する問題
理科(3年に1回実施)：「知識」「活用」を一体的に出題
イ児童生徒質問紙、学校質問紙

各教科区分に共通する課題

記述式の正答率が低い

無解答率が高い

	前回の課題	今年度の課題	詳細
小学校国語	◆話すこと・聞くこと ◆記述式	◆書くこと ◆短答式 ◆記述式	P 10～17
小学校算数	◆数と計算 ◆数量関係	◆量と測定 ◆図形 ◆記述式	P 28～37
小学校理科	H27 ◆観察・実験器具の操作技能	◆記述式	P 48～54
児童質問紙	◆算数への関心等 ◆言語活動・読解力 ◆学習習慣	◆算数・数学への関心等 ◆地域・社会への関心等 ◆学習習慣	P 64～65 P 68 P 72
小学校 学校質問紙	◆個に応じた指導 ◆学力向上に向けた取組・指導方法 ◆家庭学習 ◆教員研修・教職員の取組	◆個に応じた指導 ◆算数・数学科の指導方法 ◆学力向上に向けた取組・指導方法 ◆指導改善サイクルの確立	P 73 P 74 P 76～77 P 87～88
中学校国語	◆伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ◆記述式	◆記述式	P 18～27
中学校数学	◆関数 ◆数と式 ◆資料の活用 ◆記述式	◆数と式 ◆図形 ◆関数 ◆資料の活用 ◆記述式	P 38～47
中学校理科	H27 ◆記述式 ◆物理的領域・化学的領域 ◆基礎的・基本的な知識・技能の活用	◆化学的領域 ◆生物的領域 ◆短答式 ◆記述式	P 55～62
生徒質問紙	◆総合的な学習への関心等 ◆自尊感情	◆算数・数学への関心等 ◆理科への関心等 ◆地域・社会への関心等 ◆学習習慣	P 64～65 P 66～67 P 68 P 72
中学校 学校質問紙	◆個に応じた指導 ◆学力向上に向けた取組・指導方法 ◆家庭学習 ◆教員研修・教職員の取組	◆個に応じた指導 ◆算数・数学科の指導方法 ◆学力向上に向けた取組・指導方法 ◆家庭学習 ◆指導改善サイクルの確立	P 73 P 74 P 76～77 P 78 P 87～88

*本冊子における千葉県・全国の平均正答率及び平均正答数は、公立学校に在籍する児童生徒の数値である。

2 教科区分別調査結果

*数値は、千葉県・全国ともに、公立学校の平均正答率（％）である。ただし、文部科学省の発表に基づき、全国平均正答率は小数第1位まで、県平均正答率は小数点以下を四捨五入した結果を示している。右の（ ）の数値は平均正答数である。

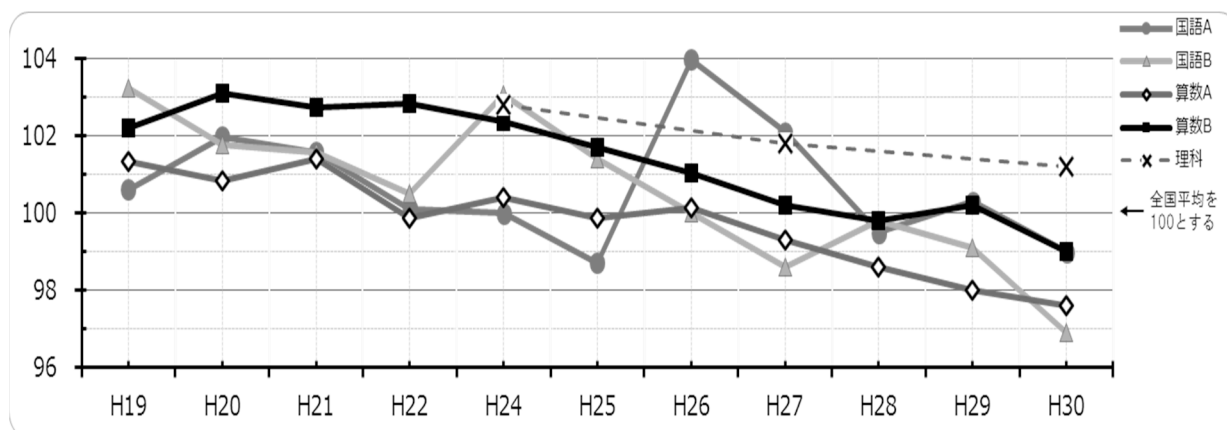
小学校	千葉県	全国	中学校	千葉県	全国
国語A（12問）	70（8.4）	70.7（8.5）	国語A（32問）	76（24.3）	76.1（24.3）
国語B（8問）	53（4.3）	54.7（4.4）	国語B（9問）	61（5.5）	61.2（5.5）
算数A（14問）	62（8.7）	63.5（8.9）	数学A（36問）	64（23.0）	66.1（23.8）
算数B（10問）	51（5.1）	51.5（5.1）	数学B（14問）	46（6.4）	46.9（6.6）
理科（16問）	61（9.8）	60.3（9.6）	理科（27問）	65（17.6）	66.1（17.9）

本県の状況は、全国平均を若干下回るものの、概ね全国平均と同程度である。
このうち、中学校数学Aについては継続的に課題が見られる。

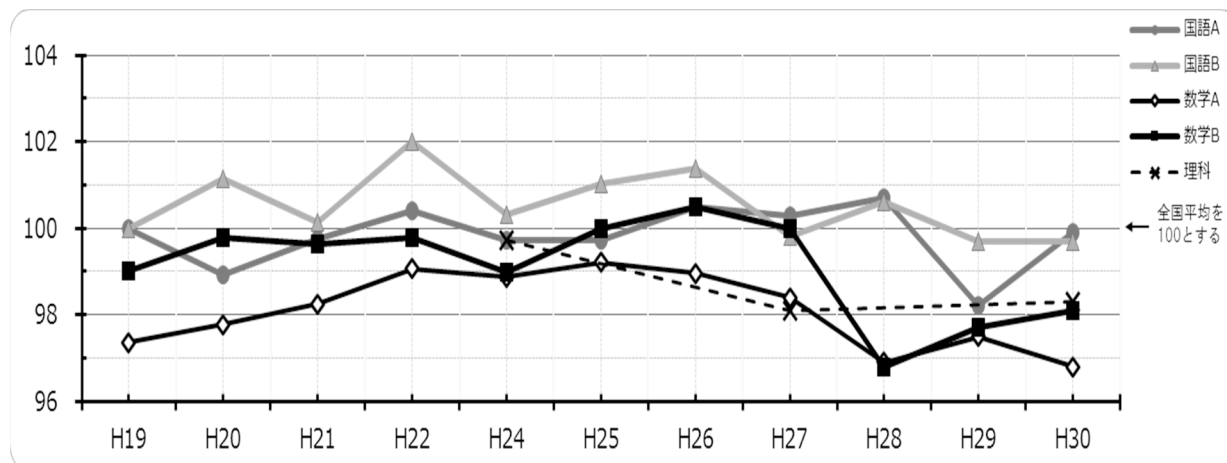
3 平成19年度からの本県の平均正答率（全国比）の推移

*全国（公立）を100として、千葉県（公立）の結果を相対的に表した数値をもとに記述した。

<小学校>



<中学校>



※平成22・24年度は抽出調査のため、平均正答率については95%信頼区間の中央値を表している。

※指数は、小数第1位までの平均正答率をもとに算出しているため、教科区分別調査結果を用いた値と一致しない場合がある。

※平成23年度は、東日本大震災の影響を考慮し、実施が見送られた。

4 教科に関する調査

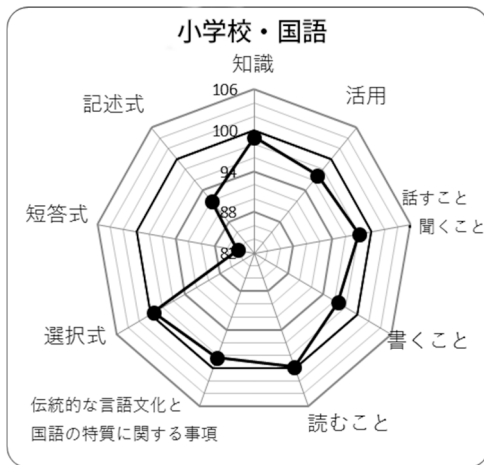
(1) 国語

【小学校】

知識（国語 A）、活用（国語 B）ともに平均正答率は、全国と同程度である。領域別では、「書くこと」が全国を下回り、問題形式別では、「短答式」「記述式」が全国を大きく下回った。「読むこと」の領域は全国と同程度の状況が続いている。

平均正答率（％）

小学校	千葉県(公立)	全国(公立)
国語 A	70	70.7
国語 B	53	54.7



知識／活用	知識	99.0
	活用	96.9
領域等	話すこと・聞くこと	98.1
	書くこと	96.6
	読むこと	99.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	98.4
問題形式	選択式	99.5
	短答式	84.5
	記述式	91.9

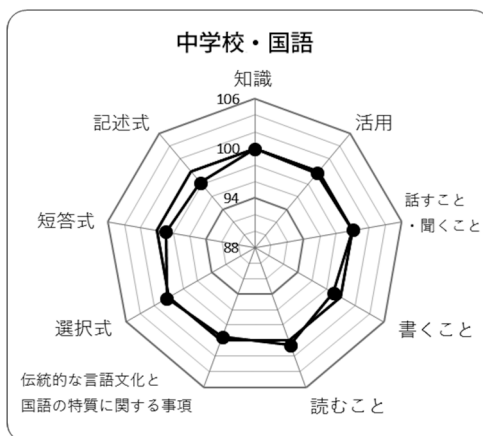
※全国を 100 としたときの指数で表している。
※今回「短答式」での出題は 1 題（A 5）であった。

【中学校】

知識（国語 A）、活用（国語 B）ともに平均正答率は、全国と同程度である。すべての領域で全国と同程度である。問題形式では、「短答式」「記述式」が全国をやや下回るが、昨年度に比べて改善がみられた。

平均正答率（％）

中学校	千葉県(公立)	全国(公立)
国語 A	76	76.1
国語 B	61	61.2



知識／活用	知識	99.9
	活用	99.7
領域等	話すこと・聞くこと	99.9
	書くこと	99.0
	読むこと	100.6
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	99.6
問題形式	選択式	100.4
	短答式	98.9
	記述式	98.2

※全国を 100 としたときの指数で表している。

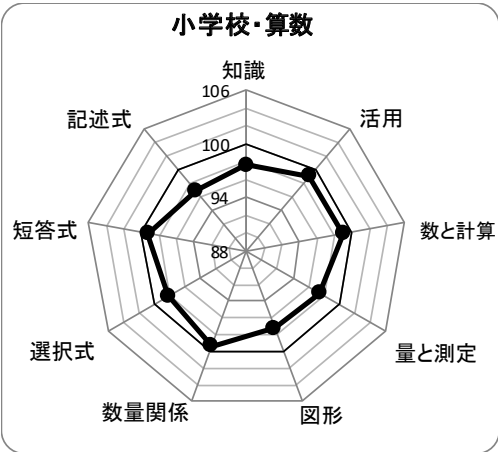
(2) 算数・数学

【小学校】

知識（算数 A）、活用（算数 B）ともに平均正答率は、全国と同程度である。領域別では、「量と測定」「図形」が全国を下回った。問題形式別では、「選択式」が全国をやや下回り、「記述式」については全国を下回った。

平均正答率（％）

小学校	千葉県(公立)	全国(公立)
算数 A	62	63.5
算数 B	51	51.5



知識／活用	知識	97.6
	活用	99.0
領域	数と計算	99.0
	量と測定	97.5
	図形	97.2
	数量関係	99.4
問題形式	選択式	98.1
	短答式	99.2
	記述式	96.8

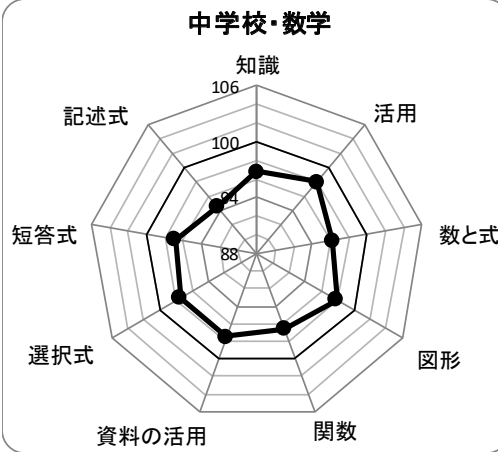
※全国を 100 としたときの指数で表している。

【中学校】

知識（数学 A）の平均正答率は全国を下回り、活用（数学 B）の平均正答率は全国と同程度であった。領域別では、すべての領域で全国を下回った。問題形式別では、「選択式」「短答式」が全国を下回り、「記述式」は全国を大きく下回った。

平均正答率（％）

中学校	千葉県(公立)	全国(公立)
数学 A	64	66.1
数学 B	46	46.9



知識／活用	知識	96.8
	活用	98.1
領域	数と式	96.3
	図形	97.9
	関数	96.6
	資料の活用	97.5
問題形式	選択式	97.4
	短答式	96.9
	記述式	94.6

※全国を 100 としたときの指数で表している。

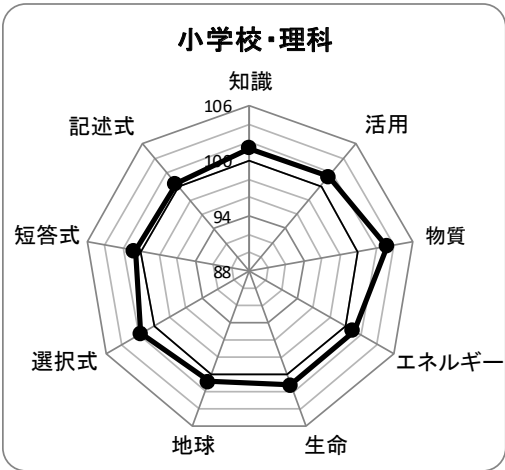
(3) 理科

【小学校】

知識、活用ともに平均正答率は、全国と同程度である。領域別では、「物質」は全国を上回り、「エネルギー」「生命」は全国をやや上回った。問題形式別では、「選択式」が全国をやや上回った。

平均正答率 (%)

小学校	千葉県(公立)	全国(公立)	[内訳]	千葉県(公立)	全国(公立)
理科	61	60.3	知識	79	78.0
			活用	57	56.2



知識／活用	知識	101.3
	活用	101.4
領域	物質	103.2
	エネルギー	101.1
	生命	101.2
	地球	100.8
問題形式	選択式	101.6
	短答式	100.6
	記述式	100.4

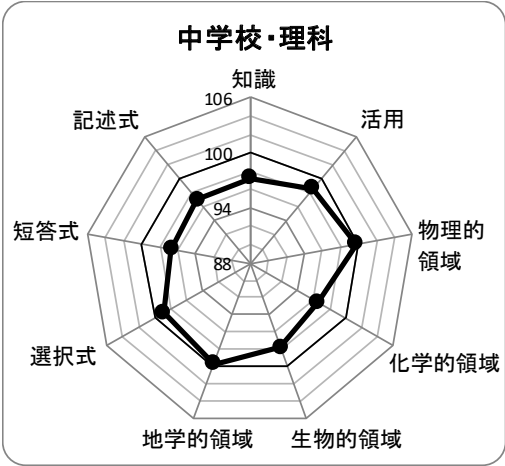
※全国を 100 としたときの指数で表している。

【中学校】

知識、活用ともに平均正答率は、全国と同程度である。領域別では、「化学的領域」「生物的領域」は全国を下回った。問題形式別では、「選択式」は全国をやや下回り、「短答式」「記述式」は全国を下回った。

平均正答率 (%)

中学校	千葉県(公立)	全国(公立)	[内訳]	千葉県(公立)	全国(公立)
理科	65	66.1	知識	66	67.9
			活用	64	64.9



知識／活用	知識	97.2
	活用	98.6
領域	物理的領域	99.7
	化学的領域	96.5
	生物的領域	97.8
	地学的領域	99.7
問題形式	選択式	98.9
	短答式	96.7
	記述式	97.0

※全国を 100 としたときの指数で表している。

5 質問紙調査に関する調査

※チャート図は、千葉県の結果について、全国を母集団として標準化したものである。内側の破線が全国平均を表している。

※◇は成果を、◆は課題を示している。

(1) 児童生徒質問紙調査

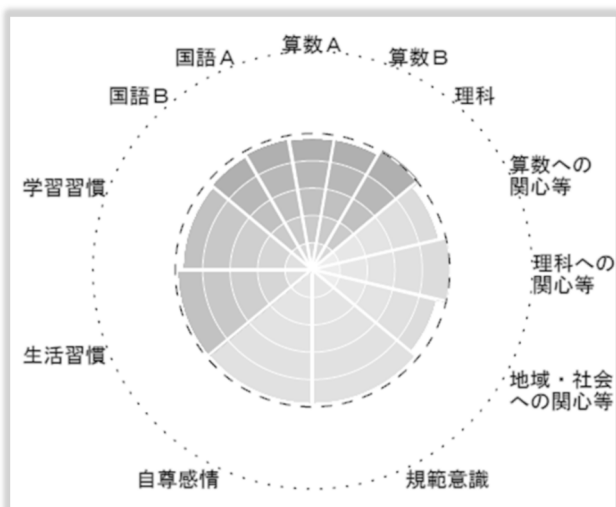
全体的に、児童は全国とほぼ同程度、生徒は全国と比べてやや低い状況である。

領域別に見ると、「算数・数学への関心等」、「地域・社会への関心等」は、児童生徒ともに全国と比べてやや低い状況にある。「理科への関心等」は、児童が全国と同程度であり、生徒はやや低い状況にある。

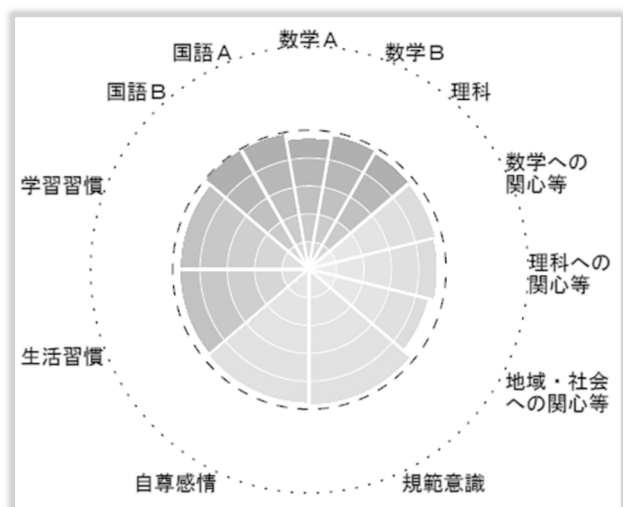
また、「主体的・対話的で深い学びの充実」「規範意識」「学習習慣」では、肯定的回答をした児童生徒ほど正答率が高い傾向が見られる。

〈児童生徒質問紙調査と教科の結果〉

【児童】



【生徒】



領域名		対応する質問番号	成果と課題
学習に対する 関心・意欲・ 態度	算数・数学 への関心等	27～36	◇「理科の勉強が好き」、「理科の授業の内容 がよく分かる」児童の割合は、全国よりや や高い。
	理科への関心 等	児 38～45、 47～50、 52、53 生 38～45、 47～50	◇「ニュースを見る」児童の割合は、全国より やや高い。
	地域・社会 への関心等	19～26	◆「算数・数学への関心等」は、児童生徒と もに全国よりやや低い。 ◆「ボランティア活動に参加したことがあ る」児童生徒の割合は、全国より低い。
規範意識・ 自尊感情	規範意識	4～6	◇児童生徒ともに「規範意識」は、全国と同 程度である。
	自尊感情	1、3	◆生徒の「自尊感情」は、全国よりやや低い。
学習の基盤と なる活動・ 習慣	生活習慣	7～9	◇児童の「生活習慣」は、全国と同程度であ る。
	学習習慣	10～12	◆生徒の「生活習慣」は、全国よりやや低い。 ◆児童生徒ともに「学習習慣」は、全国より やや低い。

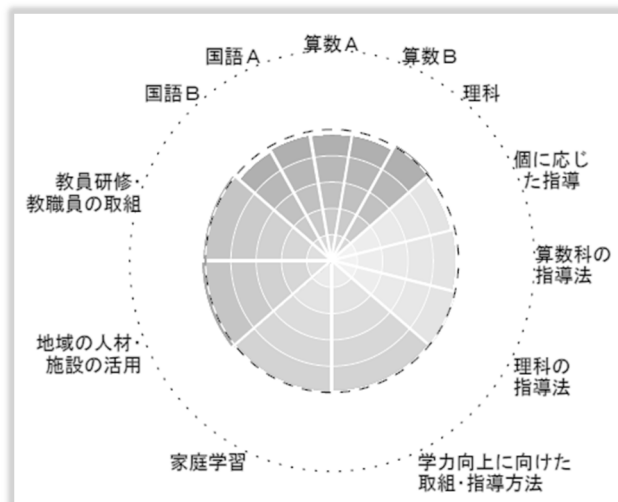
(2) 学校質問紙調査

全体的に、小学校は全国と同程度、中学校は全国と比べてやや低い状況である。

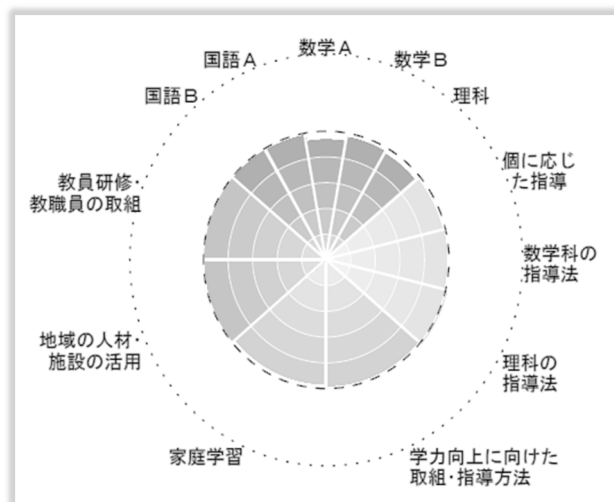
領域別に見ると、「理科の指導方法」「教員研修・教職員の取組」は、小中学校とも全国と同程度である。「算数・数学科の指導方法」「学力向上に向けた取組・指導方法」は、小中学校とも全国と比べてやや低く、「個に応じた指導」は低い。「地域の人材・施設の活用」は、小学校が全国と比べてやや高く、中学校はやや低い。「家庭学習」は、小学校が全国と同程度、中学校がやや低い状況である。

〈学校質問紙調査と教科の結果〉

【小学校】



【中学校】



領域名		対応する質問番号	成果と課題
教科指導	個に応じた指導	小 35、36 中 34、35	◇小学校理科において、「好奇心や意欲を喚起する工夫」「科学的な体験・自然体験をする授業」を行った割合は全国よりやや高い。 ◇中学校理科において、「観察や実験結果の分析・解釈」「レポートの作成方法」の指導を行った割合が全国よりやや高い。 ◆小中学校ともに「算数・数学の習熟度別の少人数指導」は、全国より低い。
	算数・数学科の指導方法	小 37～40 中 36～39	
	理科の指導方法	小 42～51 中 40～49	
学力向上	学力向上に向けた取組・指導方法	小 22～27、30 中 21～26、29	◇「理科の自由研究や課題研究などの家庭学習の課題を与えた」割合は、小学校は全国より高く、中学校は著しく高い。 ◆小中学校とも「調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えた」割合は、全国より低い。
	家庭学習	小 63～71 中 60～68	
学校経営	地域の人材・施設の活用	小 53～55、57 59～62 中 51～53 55～59	◇小中学校とも「講師を招聘した校内研修を行っている」割合は、全国より高い。 ◇「職場見学や職場体験活動を行っている」小学校の割合は、全国より著しく高い。 ◆小中学校とも「授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会の設定を行っている」割合は、全国より低い。 ◆「学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしている」割合は、小学校で全国よりやや低く、中学校で低い。
	教職員研修・教職員の取組	小 16～20 72～76 78～84 中 15～19 69～73 75～81	